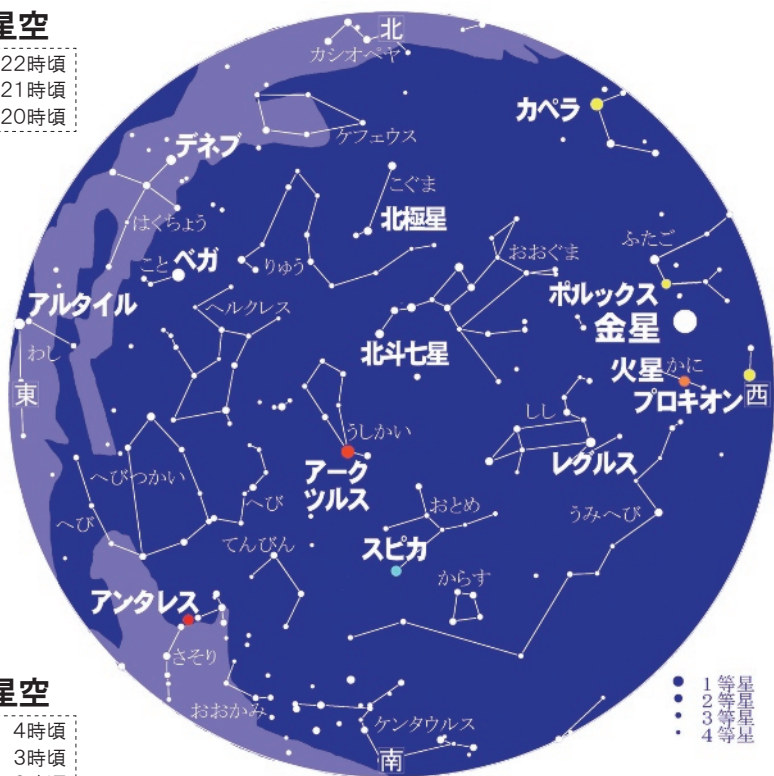


# 星空ガイド 6月16日～7月15日

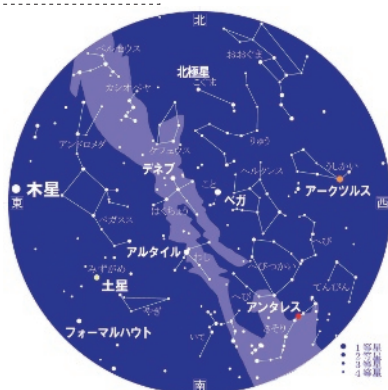
## よいの星空

6月16日22時頃  
7月1日21時頃  
15日20時頃



## あけの星空

6月16日 4時頃  
7月1日 3時頃  
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
6	16	4:44	19:12	2:54	17:32	27.5
	21	4:45	19:14	7:02	21:52	2.9
	26	4:46	19:15	11:50	--:--	7.9
7	1	4:48	19:15	17:10	2:08	12.9
	6	4:50	19:14	21:15	6:14	16.9
	11	4:52	19:13	23:54	12:11	21.9
	15	4:55	19:12	2:14	17:28	26.9

※惑星は2023年7月1日の位置です。

宵の明星のお別れ。内合前の金星を見よう

昨秋から夕空で輝く金星＝宵の明星ですが、そろそろ太陽に近づき、高度も低くなり、お別れです。一方、金星を望遠鏡で見ると、太陽に近づにつれ、半月→三日月型になり、大きさも大きくなり見応えがあります。望遠鏡を持っている人はぜひ確認してみましょう。



図1. 日没後1時間の金星の位置



図2. 望遠鏡で見た金星の形と大きさ

また、金星は6月22日に月と火星とならびます。梅雨時ですが晴れば、それも楽しめますね。

夏の大三角をチェック

七たが近づき、デネブ、ベガ(織り姫)、アルタイル(彦星)の3つの星で作る「夏の大三角」がボチボチ東の空に見え始めています。見ごたえがあるのは深夜過ぎです。

一方、織り姫と彦星の間にあるはずの天の川は大阪市内ではなかなか望めませんが、実は双眼鏡で見ると星が多いのがわかります。ぜひ試してみてください。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
6	17	土	明空の低空に月と水星がならぶ
	18	日	●新月(14時)
	21	水	夏至
	22	木	夕空に月と金星と火星がならぶ月が最遠(405,385km)
	23	金	月とレグルスがならぶ
	26	月	●上弦(17時)
	27	火	月とスピカがならぶ

渡部 義弥(科学館学芸員)

月	日	曜	主な天文現象など
7	1	土	月とアンタレスがならぶ 水星が外合
	2	日	半夏生
	3	月	○満月(21時)
	5	水	月が最近(360,149km)
	7	金	七夕/小暑/地球が遠日点通過変光星くじら座ミラ(2.0~10.1等)が極大のころ
	10	月	●下弦(11時)
	12	水	月と木星が接近